

単元名

校歌の謎を探る ～私たちの歌う校歌にこめられた願いとは～

本単元で育成する資質・能力

やりぬく力

自分で考えて動く力

令和4年2月

第3学年 17名

1 単元観

【学習指導要領との関連】

本単元は、歌い継がれてきた歴史ある校歌の意味や願いに迫ることで、総合的な学習の時間の目標で示されている「よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力」を育成することをめざした。

【本教材の特性】

本教材の特性は4つある。

- ①校歌は児童に身近で誰もが学習に参加できるテーマである。
- ②保護者や地域の方が、本校の卒業生である場合が多く、情報収集の際には、地域の方や保護者と直接コミュニケーションをとる必然がある。インターネットでの情報収集が主流になる昨今、改めて人に直接話を聞くことの大切さに気付くことができる。
- ③校歌に登場する場所を直接自分の目で見て確かめることで、実感を伴った理解につなげることができる。
- ④今後も定期的に校歌を歌う機会が保障されているため、学習が一過性のものとなりにくい。また、今後出会う唱歌にも同様の思いを馳せる機会を想定できる。

本教材の特性を生かし、児童が探究的な学びを進めながら、「やり抜く力」「自分で考えて動く力」を身に付けるため、本課題を設定した。

2 児童観

【既習単元での実態】

本学級の児童は、前学年の生活科の学習において、地域で野菜作りの仕事を行う人々について学習している。実際に栽培活動に携わり、土づくりから出荷まで経験している。その中で、インタビューをしたり、掲示物にまとめたりするなど、地域の方との交流と相手を意識したアウトプットの方法も経験している。しかし、インタビューの場や作成資料などは教師が準備している部分があり、自ら学ぶ姿勢が身に付いているとはいいいにくい。

【情報収集の能力】

本単元で児童が使用する情報源は、「国語辞典」「タブレットPC」「大人へのインタビュー」「実際の見学」の4つが想定される。国語辞典は日々の活用習慣がついていることや、校歌の歌詞の多くは辞書的な意味で解釈可能であるため、主要な情報源となると考えられる。その他3つについては、適切な使用や対応の方法、見学時の視点などは不明確であるため、活動自体が目的化する可能性がある。

【分析】

個人での情報収集は、難しいことが予想されることから、グループで協働しながら活動することが必要である。また、何のために活動をするのかという目的意識をしっかりともたせていきたい。

2 指導観

(1) 本単元のねらいを達成するための手立て

本単元では、特に以下の3点に留意して指導を展開する。

- ①「校歌」について学習するが自分たちを含めた全校児童に身近であることを意識付け、その意味を詳しく知ろうという疑問を持ったのは自分達が初めてであることを強調する。1つ解決する度に、もっと知りたくなることを次の課題として位置づけ、「自分たちが学びを進めていく」という意欲を持って学習し続けられるようにする。
- ②インタビューの方法や、情報の活用方法など、はじめは難しい方法もまず児童にやらせてみて、失敗の中で学んだことや教わったことを次の機会ですかさず過程で資質・能力を身に付けさせるという視点をもつ。
- ③見学やタブレットPCの活用、インタビューなどの慣れない活動では、活動自体が目的化することがないよう、「何のためにその活動をするのか」という確認を常に行い、自分達の行動にどのような価値があるのかという視点が持てるような声かけ、指導を行う。

(2) 資質・能力を育成するための手立て

資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿（◇）と 育成するための支援・工夫（・）
やりぬく力	◇自分達に割り当てられた役割を自覚し、責任をもって活動することができる。 ・何のためにやるのか、という目的意識を共有する。また、それぞれの仕事がある何かを明確にして取り組めるようにする。
自分で考えて動く力	◇課題の解決のために、どのように情報を得るかということや、情報を得るためにどのような注意が必要かを考えることができる。 ・教師が方法をすぐに指示するのではなく、まずは児童の考えを尊重した上で行動をさせる。学習のふり返しを行い次の学習に活かすようにする。

3 単元の目標

○情報を正しく処理したり、情報を得るためにより適した手段を用いたりして、課題を解決することができる。 【知識及び技能】

◎一つの考え方にこだわらず、得られた情報が正しいものかどうかを他の情報と比較しながら総合的に判断することができる。 【思考力、判断力、表現力等】

○課題の解決に向けて、目的を明確にしながら学習に取り組むことができる。

【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○情報を正しく処理したり、情報を得るためにより適した手段を用いたりして、課題を解決している。	◎1つの考え方にこだわらず、得られた情報が正しいものかどうかを他の情報と比較しながら総合的に判断している。	○課題の解決に向けて、目的を明確にしながら学習に取り組もうとしている。

5 思考力、判断力、表現力に関わる評価基準

	1	2	3
思考・判断・表現	○根拠が明確でない情報のみをたよりに、グループもしくは自分なりの解釈をしている。 ○学習の成果を伝達する際、伝える方法を考えている。	○自分と他者の情報を比較し、グループもしくは自分なりの解釈をしている。 ○学習の成果を伝達する際、目的を明確にして伝える方法を考えている。	○他者と情報を比較する前に自分から進んで獲得した情報も比較し、自分なりの解釈をした上でグループ活動に臨んでいる。 ○学習の成果を伝達する際、目的を明確にして、相手を意識しながら伝える方法を考えている。

6 資質・能力（やり抜く力）に関わる評価基準

	B	A
やりぬく力	○自分達に割り当てられた仕事を責任をもってやることができる。 ○期限、期日の決まっている活動や目的に向けて、作業や練習に取り組んでいる。	○自分達に割り当てられた仕事を責任をもってやることができ、よりよく成果が出るように自分なりの工夫を加えている。 ○期限、期日の決まっている活動や目的に向けて、見通しをもち、責任をもって作業や練習に取り組んでいる。

7 単元計画

(1) 単元構想図

校歌の謎を探る ～わたしたちの歌う校歌にこめられた願いとは～

課題発見

他教科との関連 社会科・音楽科

- ・社会科「市のようす」では、まち探検を通して加計の土地に主要な公共施設や町内の経済を支える商業施設があることを学習している。
- ・音楽科や各種式で校歌を日常的に歌っている。

3年生の児童の先行経験

- ・2年の生活科で、地域で仕事を行っている人々にインタビューしている。

総合的な学習の時間

自分たちにいちばん身近な「校歌」のことをよく分かっていないな。

社会科の学習とつなげて調べてみよう。

校歌に出てくる場所はどこにあるのだろう？

校歌に出てくる言葉の意味が難しくてよく分からないな。

校歌はいつごろできたのだろうか？お家の人も歌ったの？



課題の設定

校歌の謎を解き明かし、校歌の意味や願いをみんなに知ってもらおう。

情報の収集

総合的な学習の時間

校歌に出てくる言葉の意味を辞典とwebサイトで調べる。

辞典にない情報は校長先生やお家の方にインタビューする。

校歌に出てくる場所に直接行って写真を撮影する。

整理・分析

総合的な学習の時間

- ・校歌を作った人がどのような願いを込めて書いた歌詞なのかを考えながら校歌を訳す。
- ・調べたことを誰に、どのように伝えるかを考える。

実行

校歌の意味は難しかったけれど、難しい言葉も解読できたぞ！
加計小学校に統合される前の3つの小学校の校歌も調べてみたい！

振り返り

校歌には地域の自然や文化、人々の願いがこめられ、長年歌いつがれてきた。

まとめ・創造・表現

全校にむけた学習の発表会及び紹介掲示物の作成

なぜ統合される前の3校の校歌は3番まであるのに、加計小学校の校歌は2番までなのか？（新たな疑問へ）

(2) 単元計画

次	節	・学習活動 資質・能力の重点	評価観点			◇評価規準（評価方法） ★資質・能力の評価（評価方法）
			知	思	態	
第一次	第一節	・校歌を歌ってみて、意味が分からず歌っていることを認識する。 <u>自分で考えて動く力</u>			○	◇校歌の意味が分からないことを受け入れ、知りたい、行動したいと考えている。 (行動観察・発表・発言)
	第二節	・校歌にこめられた意味を知るための情報収集の方法を考え、実際に情報を収集する。 <u>自分で考えて動く力</u>		○		◇間違った方法をとっていた場合、それを受け入れ、何がよくなかったのかをふり返ろうとしている。(発言・メモ・行動観察)
第二次	第一節	・第一次での反省を生かし、新たな情報収集の方法を考える。 <u>自分で考えて動く力</u>		○		◇第一次の反省を生かしてより良い具体的な情報収集の方法を考え、伝えようとしている。 (行動観察・発言・グループワーク)
	第二節	・新たな情報収集の方法で実際に情報を収集する。 <u>自分で考えて動く力</u>	○			◇第一次の反省を生かして、効果的な情報収集の方法をしている。 ★第一次より効果的な情報収集をしようとしている。(インタビュー・調べ学習の様子)
	第三節	・収集した情報をもとに自分たちなりの解釈(訳)を作成する。 <u>やり抜く力</u>	○	○		◇仲間と協力しながら、適切な情報を用いて自分たちなりの解釈を作成している。 (グループ活動・発言)
第三次	第一節	・調べたことを誰に、どのように伝えればよいかを考える。 <u>自分で考えて動く力</u>		○		◇誰にでも分かりやすく伝えるためにはどうすればよいか考えている。(発言)
	第二節	・校歌に登場する場所に行ってみて、分かりやすく伝えるための情報を集める。 <u>自分で考えて動く力</u>	○			◇分かりやすく伝えるためにはどのような情報が必要かを考え、写真を撮影するなど具体的な方法をとっている。 (撮影した写真、行動観察)
	第三節	・分かりやすく伝えるための掲示物を作成する。 <u>やり抜く力</u>	○			◇伝える相手のことを意識しながら、言葉を選んだり情報を選択したりしている。 (作業・行動観察)
第四次	第一節	・ここまで調べたことをもとに、新たにやってみたいことを考える。 <u>自分で考えて動く力</u>			○	◇学習したことをふり返り、さらに広げていこうとしている。(作文・発言)
	第二節	・加計小学校の校歌調べの経験を生かし、統合前の3つの学校の校歌の意味を調べる。 <u>自分で考えて動く力</u>	○			◇これまでの学習で獲得した情報収集の方法や、訳の方法を考え、使っている。 (グループ活動・発言)
第五次	第一節	・これまでの学びから、自分たちが学んだこと、考えたこと、感じたことを出し合い、伝えたい中身を整理する。 <u>自分で考えて動く力</u>		○		◇学習のふり返りから、「伝えたい」という自分たちの気持ちを確認し、伝えたい内容や、伝えたい相手について考えている。 ★次節にむけて建設的な話し合いをしている。 (グループ活動・発言)
	第二節	・これまで調べたことをどのように伝えればよいかを考える。 <u>やり抜く力</u> 【本時】		○		◇第三節までで作成したものと、第四節で学習したことを合わせて考えている。 ★目的を明確にして話し合っている。 (発言・ワークシート)
	第三節	・加計小学校の校歌の意味と歌詞にこめられた願いを発信する。 <u>やり抜く力</u>			○	◇伝える相手に合わせた発信の方法を考え、発信している。(発表)

8 本時のねらいとポイント

(1) 本時の目標

- ・学習してきたことを想起し、伝えたいことを発信する方法について、自分の意見をもつことができる。

(2) 本時の評価規準

- ・学習してきたことを想起し、どのような伝え方をすればよいかという自分の意見をもっている。

(3) 準備物 ワークシート

(4) 学習の展開

分	学 習 活 動 ○主な発問や指示 ・予想される児童の反応	☆指導上の留意点 ◆配慮を要する児童への手立て	◇評価規準 (方法) ★資質・能力
5	<p>1 既習の確認をする。 ○これまで、どんな学習をしてきたかな？</p> <p>2 本時の学習課題の確認をする。 ○これまで学習してきたことを、いよいよ外に出していきたいとします。今日はどんな形で発表していきたいかを、みんなで考えましょう。</p>	<p>☆作成した掲示物とともに想起できるようにする。</p> <p>☆3年生として伝えたい中身を確認する。(前時をもとに)</p> <p>☆「自分の案を出す」→「グループで紹介する」→「グループ内で話し合った中で最もよいと思うものを選ぶ」→「それを他グループの友達にも紹介する」→「交流した中で最も良いと思うものを選ぶ」→「理由とともに発表する」という見通しをもたせる。</p>	
<p>【めあて】これまで学習してきたことを、誰にどのように伝えるか、自分の考えを持とう。</p>			
	<p>3 自分の案を1つ以上出す。 ○まずは、どのような形で発表したいかという自分の意見を持ちます。</p> <p>4 グループ内に案を紹介する。 ○お互いの意見を比べながら、よいと思う意見を選びましょう。意見を組み合わせたり、具体的に質問したりしてもよいです。</p> <p>5 自分たちのグループで出てきた意見を、他のグループの人に紹介する。 ○グループの中で出た案を、他のグループの人に紹介しましょう。</p> <p>6 全体で意見を共有する。 ○これまで交流した意見の中で、最も納得のいく意見を理由とともに発表しましょう。</p>	<p>☆ワークシートに記入させる。</p> <p>◆①「誰に対して伝えたいか」 ②「どのような方法で伝えたいか」を問い、書きやすい方から記入すればよいことを伝える。</p> <p>☆◆友達の意見を聞いた上で自分の考えを変えてもよいし、自分の意見と友達の意見を合わせてもよいことを伝える。</p> <p>☆出た意見を「誰に」「どのような方法で」という短冊に書かせ、発表の準備をさせる。</p> <p>☆自分の意見でなくても、友達の意見でもよいことを伝えるが、その際になぜその方法がよいのかを言うことを指示する。</p> <p>◆理由が難しい場合は、意見だけは伝えるよう説明する。</p> <p>☆似た意見などを、短冊をはる位置を考えながら、黒板にはらせる。</p> <p>☆最初に考えた意見を変えずに主張することと、友達との交流で意見が変化することのどちらにも価値があることを伝える。</p>	★やり抜く力
8	<p>7 交流を通してできた自分が最も納得のいく案を一つ選ぶ。 ○「誰に対して」「どのような方法で」という2点を理由とともに書きましょう。</p>	<p>☆これまでの交流全体を通して、今考えていることを書くよう伝える。</p> <p>◆①「誰に対して伝えたいか」 ②「どのような方法で伝えたいか」を問い、書きやすい方から記入すればよいことを伝える。</p> <p>☆次時は、実現可能で目的が達成できる方法を全体で検討していくという、見通しをもたせる。</p>	◇学習してきたことを想起し、どのような伝え方をすればよいかという自分の意見をもつことができる。(ワークシート)